

第10回 プラネタリーヘルス（1月20日 月曜日）

こんにちは。

長崎大学人、河野茂です。

センター試験の実施、関係者の皆様大変ご苦労様でした。

さて、今日は第10回です。

プラネタリーヘルス（地球の健康）に関して、情報発信してきましたが、

大変大きな反響があり、私自身、驚いています。

学長が直接呼びかけるという取り組みだけでなく、

プラネタリーヘルス（地球の健康）が、皆さんの知を刺激した

結果であることを望みます。

今回の取り組みを行った2週間間に50通近いメールが届きました。

その多くは、現場で教えている先生や職員からです。

様々な意見や提案は長崎大学丸の推進力であり、非常に心強く思いました。

特に、若い人からのメールは嬉しかったです。

これからも長く長崎大学丸を漕いでいく若い人の意見は、小さなものでも

継続によって大きな結果を生むことになるでしょう。

私は、いつか大学を去ります。

だからこそ、次の大学を担う次の世代のために、

<プラネタリーヘルス（地球の健康）>

という長崎大学丸の旗印をしっかりと掲げたいという思いがあります。

旗印によって、長崎大学丸の未来が明るくなり、乗組員の相互連携が進み、

毎年新しく乗り合わせる学生たちの顔にやる気がみなぎることを願っています。

今、地方大学は存亡の危機にあります。受験者数の減少、運営予算の減少、

研究や教育分野での国際的な競争…等々。

これらの危機を乗り越えなければ、国立大学といえども統廃合の可能性もあります。

大学の統廃合は、大学だけの問題ではありません。

大学で働く皆さんや地域の持続的な成長を妨げるものです。

<歴史ある長崎大学>ということだけでは、存続できる時代ではありません。

継続できなければ、<歴史があった長崎大学>でしかありません。

時代の荒波の中で、皆さん、ひとりひとりが、

<プラネタリーヘルスに貢献する長崎大学人>

として、頑張ってください。期待しています。

最後に、10回にわたって、私のメール読んでくれてほんとうに、ありがとう。